

令和4年度 トップアスリート派遣による体育授業

- 1 期 日 6月27日(月) 2限(1年C組)・3限(1年B組)・4限(1年A組)
- 2 目 的 体育の授業に専門のトップアスリートを招聘し、体育担当教員と協力しながら、技の手本を示したり、専門的なアドバイスを送ったりすることで、児童生徒の運動への意欲を高め、体力の向上につなげる。
- 3 場 所 福井県立高志中学校 第1体育館
- 4 参加生徒 1年生88名

5 報 告

北陸電力ブルーサンダーの選手(重藤駿介選手、福満幸誠選手、水野雄斗選手、大城陽貴選手)をお招きし、体育の授業を行いました。選手の皆さんは、6月21日~25日に行われた高松宮記念杯第10回全日本社会人選手権で、創部以来初の4位という輝かしい成績を収めており、まさに「トップアスリート」の選手による授業でした。

多くの生徒はハンドボールの経験がないため、ボールの投げ方やボールの取り方をわかりやすく教えていただきました。ボールを投げる時は、「ボールを頭の後方の位置で持ち肘を直角に曲げる、ボールを持っていない側の腕は、投げる方向に向かって伸ばす」こと。ボールを取る時は、「両手の親指と人差し指で三角形を作り、手のひらをボールに向ける」こと、具体的なポイントを説明していただきました。その後、キャッチボール、ステップシュート、ジャンプシュートを行い、選手も参加して簡易ゲームを行いました。授業終了後、「次時もハンドボールがしたい」と楽しそうに話す生徒が多く見られました。

[生徒の感想]

- ・トップアスリートの選手のパスやシュートを間近で見ることができ、スピードや迫力に驚いた。その選手に褒めてもらい、とてもうれしかった。
- ・ハンドボールのことは全く知らなかったが、シュートをする時の身体の動きや足の運び方について、説明がわかりやすかった。
- ・足元にシュートをされると、身体が反応しにくいことがわかった。みんなシュートを上の方にしていたので、私は足元を狙ったシュートでゴールを決めることができて楽しかった。
- ・トップアスリートの選手が、優しく明るく面白く教えてくださり、初心者でも私でも上達するのが分かった。「パス」と声をかけ合い、ボールを楽しくつなぎ、試合に活かすことができた。

[授業写真]

